

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年4月11日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第3四半期連結 累計期間	第32期 第3四半期連結 累計期間	第31期
会計期間		自平成24年 6月1日 至平成25年 2月28日	自平成25年 6月1日 至平成26年 2月28日	自平成24年 6月1日 至平成25年 5月31日
売上高	(千円)	17,478,148	20,630,592	27,939,747
経常利益	(千円)	54,088	340,576	698,594
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( )	(千円)	63,452	154,124	342,315
四半期包括利益又は 包括利益	(千円)	28,851	189,649	385,497
純資産額	(千円)	4,270,256	4,934,304	4,818,015
総資産額	(千円)	24,569,320	26,038,911	23,527,025
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額( )	(円)	43.60	105.05	235.07
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	17.4	18.4	20.0

回次		第31期 第3四半期連結 会計期間	第32期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自平成24年 12月1日 至平成25年 2月28日	自平成25年 12月1日 至平成26年 2月28日
1株当たり四半期純損失金 額( )	(円)	82.54	46.27

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第32期第3四半期連結累計期間及び第31期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第31期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。なお、当社は平成25年8月31日付で100%連結子会社である株式会社住空間研究所を吸収合併いたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における東海地域の経済は、円安の好影響と消費増税前の駆け込み需要により、企業収益や個人消費が改善されましたが、今後、駆け込み需要の反動が予測されており、足下の景気動向には不透明感があると認識しています。

不動産業界においては、名古屋圏において商業地・住宅地ともに地価が上昇し、新設住宅着工戸数についても、消費増税前の駆け込み需要により、新築需要については堅調に推移しました。しかしながら、建築の職人不足や一部の建築資材の供給不足が顕在化して生産現場が混乱し、予定通りに工事を進められない状況も発生してきています。

このような状況下、当グループの主力事業である住宅事業では、外部環境変化への会社対応の遅れにより工事現場に混乱が生じ、計画どおりの生産が行えなくなりました。工期遅れが多発するとともに、職人確保のためのコスト増につながりました。また、集成材製造を行っている岐阜工場におきましても、同様の対応の遅れにより、収益改善が遅れることとなりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

##### 住宅事業

エリアマーケティングを重視した販売活動により、販売戸数は概ね計画どおり進捗しましたが、当第3四半期連結会計期間では、職人コスト等の上昇により利益率が低下しました。売上高は18,203百万円(前年同期比14.7%増)、セグメント利益は665百万円(前年同期比98.9%増)となりました。

##### AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は1,247百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は276百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

##### その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。首都圏で宅地開発販売を行ったことにより、売上高は1,266百万円(前年同期比194.0%増)、セグメント利益は21百万円(前年同期は39百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,630百万円(前年同期比18.0%増)、営業利益は566百万円(前年同期比108.4%増)、経常利益は340百万円(前年同期比529.7%増)、四半期純利益は154百万円(前年同期は63百万円の損失)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として前連結会計年度末と比較して2,511百万円増加し、26,038百万円となりました。

##### 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して2,395百万円増加し、21,104百万円となりました。

##### 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して116百万円増加し、4,934百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000
計	48,000

(注) 平成26年1月20日開催の取締役会決議により、平成26年3月1日付で株式分割に伴う定款の変更が行われ、発行可能株式総数は4,752,000株増加し、4,800,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成26年4月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,800	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	平成26年3月1日から 単元株制度を採用して おり、単元株式数は 100株であります。
計	14,800	1,480,000	-	-

(注) 平成26年1月20日開催の取締役会決議により、平成26年3月1日付で1株を100株とする株式分割を行いました。これに伴い、発行済株式総数が1,465,200株増加しております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月1日～ 平成26年2月28日	-	14,800	-	279,125	-	279,908

(注) 平成26年1月20日開催の取締役会決議により、平成26年3月1日付で1株を100株とする株式分割を行いました。これに伴い、発行済株式総数が1,465,200株増加しております。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 128		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,672	14,672	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,800		
総株主の議決権		14,672	

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式の割合 (%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄四丁目5番3号	128	-	128	0.86
計	-	128	-	128	0.86

2【役員の状況】

事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	エンジニアリング本部長 兼建築資材事業本部長	取締役	エンジニアリング担当	松浦 和雄	平成25年10月1日
取締役	不動産開発本部長兼開発 部長兼東京事業本部長	取締役	不動産開発本部長	笹原 利明	平成25年10月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年12月1日から平成26年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成26年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,228,129	1,971,867
完成工事未収入金	14,772	66,464
売掛金	294,654	441,991
販売用不動産	5,172,270	6,890,762
仕掛販売用不動産	8,444,232	9,576,175
商品及び製品	9,585	58,757
未成工事支出金	2,062,083	2,170,241
原材料	155,581	664,094
仕掛品	112,476	178,384
その他	526,343	620,620
流動資産合計	20,020,128	22,639,359
固定資産		
有形固定資産	2,910,922	2,791,036
無形固定資産	165,468	179,894
投資その他の資産	430,505	428,620
固定資産合計	3,506,897	3,399,552
資産合計	23,527,025	26,038,911
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,670,582	1,342,161
買掛金	369,103	729,218
1年内償還予定の社債	241,800	175,400
短期借入金	9,428,120	11,152,830
1年内返済予定の長期借入金	1,119,594	2,413,744
未払法人税等	264,448	62,834
賞与引当金	-	87,895
完成工事補償引当金	67,100	81,400
その他	1,047,565	818,570
流動負債合計	14,208,316	16,864,054
固定負債		
社債	539,200	451,500
長期借入金	2,664,106	2,558,535
退職給付引当金	4,932	2,433
役員退職慰労引当金	114,000	118,680
資産除去債務	15,430	15,554
その他	1,163,024	1,093,849
固定負債合計	4,500,693	4,240,552
負債合計	18,709,010	21,104,607



	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,166,923	4,247,688
自己株式	20,879	20,879
株主資本合計	4,705,076	4,785,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	622
その他の包括利益累計額合計	703	622
少数株主持分	112,235	147,840
純資産合計	4,818,015	4,934,304
負債純資産合計	23,527,025	26,038,911

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	17,478,148	20,630,592
売上原価	15,319,570	17,885,188
売上総利益	2,158,577	2,745,404
販売費及び一般管理費	1,886,696	2,178,688
営業利益	271,880	566,715
営業外収益		
受取利息	159	194
受取手数料	13,045	15,551
違約金収入	5,600	-
その他	23,541	13,997
営業外収益合計	42,347	29,743
営業外費用		
支払利息	231,429	243,097
その他	28,709	12,784
営業外費用合計	260,139	255,881
経常利益	54,088	340,576
特別損失		
固定資産売却損	-	43
固定資産除却損	21,411	23
減損損失	14,839	-
出資金評価損	10,000	-
特別損失合計	46,251	66
税金等調整前四半期純利益	7,837	340,509
法人税等	37,864	150,779
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	30,027	189,730
少数株主利益	33,425	35,605
四半期純利益又は四半期純損失( )	63,452	154,124

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	30,027	189,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,175	81
その他の包括利益合計	1,175	81
四半期包括利益	28,851	189,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,276	154,043
少数株主に係る四半期包括利益	33,425	35,605

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社住空間研究所は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
販売顧客の金融機関からの借入金	828,600千円	317,445千円

2 偶発債務

当第3四半期連結会計期間(平成26年2月28日)

当社が建築した一部の準耐火建築物(木造3階建の一部)について、間仕切壁の施工方法の一部が国土交通大臣認定の内容に適合していない、もしくは不適合施工の可能性があること、並びに天井と壁の取合い部分の施工が告示に適合していない、もしくは不適合施工の可能性があることが判明し、平成25年11月26日に公表しました。

当該事象により、点検および改修等費用が発生しますが、現時点では金額を合理的に見積もることが困難であるため費用計上しておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
減価償却費	340,465千円	300,102千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	72,760	5,000	平成24年 5月31日	平成24年 8月29日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 定時株主総会	普通株式	73,360	5,000	平成25年 5月31日	平成25年 8月28日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	A M事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	15,868,608	1,213,244	396,294	17,478,148	-	17,478,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,034	-	34,315	38,350	38,350	-
計	15,872,643	1,213,244	430,610	17,516,498	38,350	17,478,148
セグメント利益 又はセグメント損失( )	334,714	269,382	39,801	564,295	292,414	271,880

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 292,414千円には、セグメント間取引消去38,390千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 330,805千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	A M事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	18,199,296	1,246,340	1,184,956	20,630,592	-	20,630,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,920	1,475	81,158	86,554	86,554	-
計	18,203,217	1,247,815	1,266,114	20,717,147	86,554	20,630,592
セグメント利益	665,673	276,315	21,909	963,898	397,183	566,715

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 397,183千円には、セグメント間取引消去17,739千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 414,923千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	43円60銭	105円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	63,452	154,124
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	63,452	154,124
普通株式の期中平均株式数(株)	1,455,200	1,467,200

- (注) 1 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月11日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 宮本 正 司

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 楠 元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年12月1日から平成26年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成26年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。